

CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 評価マニュアル(2019年版) 名古屋版(2021年9月現在) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)コソズ名古屋サービスセンターII 新築工事(駐車場棟)	階数	地上4F
建設地	愛知県名古屋市中区金山5丁目1210,1211,1212,1215	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	XX 人
地域区分	6地域	年間使用時間	7,665 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年9月3日
敷地面積	2,258 m ²	作成者	
建築面積	596 m ²	確認日	2021年9月3日
延床面積	2,325 m ²	確認者	

外観/パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.5 ★★★★★

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	81%
③上記+②以外の	81%
④上記+	81%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 1.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 1.0

音環境	1.0
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	3.0
耐用性	2.6
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	1.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.0
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.7
地域環境	2.3
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項	
総合	施設建設による周辺環境に影響の無い様配慮した。
その他	特になし
Q1 室内環境	速度制限を設けて騒音に配慮した。
Q2 サービス性能	施設建設による周辺環境に影響の無い様配慮した。
Q3 室外環境(敷地内)	夜間照明の設置、防犯カメラの設置により防犯性に配慮した。
LR1 エネルギー	LED照明を採用する事により省エネルギーに配慮した。
LR2 資源・マテリアル	汚染物質を含まない材料の使用に努めた。
LR3 敷地外環境	施設建設に伴う周辺道路への渋滞緩和を考慮し出入口の計画を行なった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)コーンズ名古屋サービスセンターⅡ 新築工事(駐車場棟)

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策				3.6
LR1	エネルギー	3.8	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.7	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.12	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性のある材料の使用※1	無	0.012
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.06	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.0	0.016666667	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.6



2. 自然共生

評価点 = 1.6



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。